

## 第2学年4組 生活科学学習指導案

平成17年7月14日(木)第2校時  
授業者 T1(教諭), T2(栄養教諭)

### 1 単元名 やさいをそだてよう

### 2 単元の目標

- ・野菜を栽培することを通して、育て方を調べたり、地域の人に話を聞いたりして意欲的に世話をし、その生長の様子に関心を持つことができる。
- ・世話をして育ててきた野菜の生長の様子を絵や文章で表現するとともに、生長や収穫の喜びをいろいろな方法で伝えることができる。
- ・野菜の生長や変化の様子に気づく。

### 3 単元について

4月の下旬頃から、通学路や学校の周り、自宅の畑で野菜が育てられている様子を目にするようになり、学校近くの園芸店でもいろいろな野菜の苗が並ぶ様子を見学することができた。好奇心旺盛なこの時期の子どもたちにとって、野菜を育てる活動は非常に興味深いものである。この活動を通して、育てたい野菜を選んで世話の仕方を調べることで、心を込めて継続的に世話をすること、生長や変化の様子を表現することができることを考えた。さらに、食育とからめて、野菜の栄養について知ること、野菜を食べることの大切さに気づくこともねらいたい。

学校の近くに園芸店があるため、自分で苗を買う体験をすることができ、自分の野菜に愛着を持って活動をスタートすることができた。また、野菜作りに詳しい祖父母の方を野菜先生として招き、1回目は苗の植え方や支柱の立て方などを教えていただき、2回目は、子どもたちが世話をしている心配なことや質問に対して具体的に答えていただくことができた。話を聞く子どもたちの目は真剣で、野菜先生から直に教えてもらえたことで、その後の活動の意欲へとつながり、収穫への期待が日々膨らんでいった。

野菜を収穫した児童は、家庭に持ち帰って調理し、ワークシートに、調理した絵と子どもと親の感想を書いている。どの親子も、野菜の収穫を喜び、味のおいしさに感動したことを書いてきている。愛情を込めて育てた野菜の味は特別おいしく感じるのかもしれないが、スーパーで売られている野菜となんら代わりのない野菜を自分が育てることができたことや、小さな植木鉢でもどんどん生長し実をつけていく野菜の生命力の強さに感動し、「やさいってすごい。」という言葉が子どもたちから自然に聞かれるようになった。オクラについては、気候が合わなかったせいもあり生育が悪く、1学期中に実をつけることは難しい状況だが、子どもたちは小さいなりに一生懸命生きているオクラの姿を見て、がんばって大きく育ててほしいという思いを強くしている。

このように、野菜を育てることを通して野菜のすごさや不思議さを学んでいる時期に、食品の栄養や、野菜が自分たちの体に果たす役割を栄養教諭に指導してもらい、私たちは野菜のパワーをいただいていること、野菜を食べることがとても体にとって大切であることに気づかせたい。また、夏休み前に、今までの活動を振り返ることで、夏休み中も毎日水やりを忘れずに心を込めて世話ができるように意欲付けをしていきたい。

2学期に入ってから、夏休み中も含めて世話を続けたことを思い起こし、いろいろな方法で表現することで、意欲的に表現させたいと考える。

### 4 児童について

全体的に明るく活発な子が多く、様々なことに関する興味関心も強い。天気の良い

日は外に遊びに行き，そこで見つけた草花や生き物について，うれしそうに担任に話すことも多い。生活科の授業も楽しみにしている様子で，意欲的に取り組んでいる子がほとんどである。しかし，根気が続かず，活動中に関心がそれてしまう子もいる。

そこで，「野菜をそだてよう」の単元では，どの子も集中して活動が続けられるように，いくつかの工夫を試みた。一人一鉢で野菜を育てること，自分で育てる野菜を決めること，自分で苗を買いに行くこと，などである。その結果，数ヶ月間にわたる活動であるにもかかわらず，毎日の世話を欠かす子はほとんどいなかった。

また，単元の始めに，野菜の好き嫌いに関するアンケートを実施したところ，半数の児童が野菜嫌いであった。給食の残菜も多い方である。自分が育てる野菜を決めるときも，「どれも嫌いだから，選べない。」と言い困っていた子もいた。しかし，自分で買いに行った苗を植え，世話を続けるなかで，自分の野菜に愛着を覚える子が多くなった。現在，ほとんどの児童が収穫の時期を迎えており，前述の児童もその一人である。嫌いだったはずの野菜をうれしそうに収穫し，おいしく食べたとの報告を聞き，うれしくなった。

なお，継続的に野菜を観察してきた内容は常時掲示してあるが，友達の観察カードを熱心に見入る子が，野菜の生長と共に多く見られるようになってきた。

## 5 指導について

子どもたちの主体的な活動を目指すために，自分の好きな野菜を選び，一人一鉢で育て，毎朝各自が水やりの世話をしている。水やりの時に気づいたことを，気軽に記録しやすいよう付箋を用意し，それを貼って野菜ごとのグループで野菜ニュースを作り，日々のつぶやきが形で残るようにしている。生活科の時間には観察カードに絵と文で気づきや思いを表現し，クリアケースに入れて掲示し互いに読み合い学びが広がるようにしている。

絵や文での表現だけでなく，子どもの思いや願いを少しでも見とるために，子どものつぶやきに耳を傾けるようにし，疑問や不安はクラス全体に投げかけ，驚きや発見もみんなで分かち合える雰囲気作りをし，友達の野菜にも関心が持てるようにしている。収穫した野菜は，子どもたちにとって，とても大切なものである。子どもたちの野菜を愛おしく思う気持ちを大切にするために，収穫できた野菜は『 月 日やさいがとれたよ』というカードと共にビニール袋に入れて，大切に持ち帰らせている。その気持ちは家族にも十分伝わっているようである。

本時では，野菜を育ててきて“ やさいってすごいな ” と思ったことを野菜ごとに模造紙にまとめ，発表し合うことで，それぞれの野菜の特徴や共通点を知り，改めて野菜の不思議さやすごさを知ることができると思う。生活科における表現は，具体的な体験を通して，自分と身近な社会や自然とかがわったり，自分自身や自分自身の生活について考えたりする過程で，その楽しさを味わい，それを言葉や絵，動作，劇化などによる手段や方法で表現できることをねらいとするものである。そこで，2学期にはこれまでの活動を振り返り，いろいろな表現方法で保護者や1年生に伝えることを目当てに，グループで協力して活動し，満足感を味わわせたい。

本校の研究テーマを受けて，学活の時間には，食育と関連させて，計画的に栄養指導を行っている。6月には，子どもたちに栄養についての基本的な知識を知ってほしいとの願いから，栄養教諭が三つの食品群に関する授業を行った。ここで子どもたちは食べ物に赤（おもに血や肉となり，体をつくるもとになる）黄（おもにエネルギーとなり，体を動かすもとになる）緑（おもに体の調子を整え，病気をしないようにする）のグループに分けられることを知り，食べ物が体を作っていくことに気づいたようである。授業後，保護者から感想を募ったところ，学校で栄養について学習することに対して大きな反響があり，「食」の大切さについて関心があることがうかがえた。本時では，生活科の授業の中で，子どもたちが育てた5種類の野菜の栄養について，栄養教諭から教えてもらうことで，育てている野菜について栄養の面からも関心が高まるようにしたい。

6 指導計画 (24 時間)(食べ物の栄養について知ろう 5つの野菜の栄養を知ろう は栄養教諭による指導)

	学 習 内 容	関	思	気	評 価 規 準	
1	苗を植えよう	野菜作りについて知っていることや経験を話し合う。				野菜作りに関心を持ち、経験などを発表している。
2		畑や園芸店の様子を探検しよう。				畑の人に質問するなど関心を持って見学している。
3		好きな野菜・嫌いな野菜をふりかえり、育てたい野菜を決めよう。				自分なりの理由を持って、育てたい野菜を決めている。
4		育て方を調べ、発表しよう。 (家庭学習)				家族と一緒に調べたことを発表し、これからの野菜作りに期待を抱いている。
5 6		苗の買い物に行き、苗や種を観察しよう。				店の人とふれあいながら買い物をし苗の様子をよく観察している。
7 8		苗を植えよう。				野菜の先生とふれあいながら、大切に苗を植えている。
9 ~ 14	野菜の世話や観察をしよう	野菜の世話や観察をしよう。				継続的に一生懸命水やりなどの世話をしている。 茎や葉・花などの生長の様子や自分の思いをカードにかいている。 野菜の世話の仕方や生長の様子が分かる。
食べ物の栄養について知ろう(学活1時間)						
15		世話の仕方や心配なことを野菜の先生に教えてもらおう。				分からないことなどを進んで野菜の先生に質問している。
16		「すごいな」新聞を作ろう。				これまでの観察をふりかえり、すごいなと思ったことを新聞に書いている。
17 本 時		「すごいな」新聞をもとに話し合おう。  5つの野菜の栄養を知ろう (栄養教諭による指導)				進んで発表したり、友だちの発表を熱心に聞いたりしている。 夏休みの野菜の世話に意欲をもっている
18	野菜の取り入れをしよう	野菜の取り入れをしよう。				成長を喜びながら収穫している。
19		野菜を料理して食べよう。 (家庭学習) 発表しよう。				友だちの発表を聞き、収穫の喜びを共に喜んでいる。
20 ~ 23	「やさいをそだてたよ」発表会をしよう	野菜を育ててきたことを劇や紙芝居などで表そう。				野菜の生長や自分の思いを工夫して表現している。
24		1年生を招いて、発表会をしよう。				野菜を育てた喜びを一生懸命発表している。

7 本時の目標

話し合いや野菜の栄養についての話から，野菜に対する愛着を深め，これからの世話に意欲をもつことができる。

8 準備物

すごいな新聞，ホワイトボード，野菜シール，ワークシート，栄養指導資料  
5種類の野菜の鉢植え（児童のもの）

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（ ）
<p>本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「やさいってすごいな」ということを話し合おう。</p> </div> <p>「すごいな新聞」を見て，それぞれの野菜についてすごいなと思うところを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さかった苗が，支柱を追い越した。</li> <li>・ピーマンは1度にたくさんの実がなった。</li> <li>・キュウリは1日でとても太くなった。</li> <li>・ミニトマトは，1つの枝にたくさんの実がなった。</li> <li>・ナスは，軸の色もむらさき。</li> <li>・オクラはずっと小さかったのに大きくなった。</li> </ul> <p>栄養面での野菜のすごいところを，栄養教諭から聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーマン：1日2こで「ビタミンC」</li> <li>・キュウリ：夏にぴったり，体すずしく</li> <li>・ミニトマト：びょう気にならない「赤」のパワー</li> <li>・ナス：目にいい「むらさき」パワー</li> <li>・オクラ：体が元気に「ネバネバ」パワー</li> </ul> <p>今日の授業でわかったことや，これからがんばろうと思うことをワークシートに記入する。</p> <p>ワークシートに書いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日水やりをしたい。</li> <li>・おいしく食べたい。</li> </ul> <p>本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜ごとに席を移動し，共感し合える雰囲気づくりをする。</li> <li>・同じ意見や，良いと思う意見に対しては，「同じです。」や拍手をするように伝え，互いの意見を認め合えるようにする。</li> <li>・発表するたびに野菜別のシールをはっていくことで，より多くの意見が出やすいようにする。進んで発表したり，友達を発表を熱心に聞いたりしているか。 （発表・観察）</li> <li>・5種類の野菜それぞれの栄養面について，イラストなど使って視覚的にわかりやすくする。</li> </ul> <p>今後の野菜の世話に意欲を持たたか。 （ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期には，1年生に野菜について教えてあげて伝えること伝え，夏休み中にもしっかり世話をしようとする意欲付けとする。</li> </ul>